

## TAMA フレイル予防プロジェクト

## 2017（平成 29）年度第 3 回測定会実施報告書

1. 日時：2018（平成 30）年 1 月 27 日（土） 14：00～16：00
2. 場所：からきだ菖蒲館
3. 参加者数：36 名（男性 15 名、女性 21 名）※うち男性 1 名は結果未回収
4. 参加者の年齢層および平均年齢：59～87 歳・平均年齢 74.2 歳（男性平均年齢 74.7 歳、女性平均年齢 73.9 歳）
5. 運営スタッフ：国士舘大学 9 名（学生スタッフ含む）、介護予防リーダー 5 名、地域包括支援センター 4 名、市役所 4 名
6. 人員配置
  - 受付：2 名（学生スタッフ 1 名）
  - ファーストチェック、セカンドチェック：1 名（国士舘大学 1 名）
  - 身長、体重、BMI 測定：3 名（学生スタッフ 3 名）
  - 開眼片足立ちテスト：4 名（学生スタッフ 1 名、介護予防リーダー 3 名）
  - 5m 通常歩行テスト：4 名（学生スタッフ 2 名、介護予防リーダー 2 名）
  - ファーストチェック、セカンドチェックの確認：6 名（地域包括支援センター 4 名、市役所 2 名）

## 7. 測定結果の概要

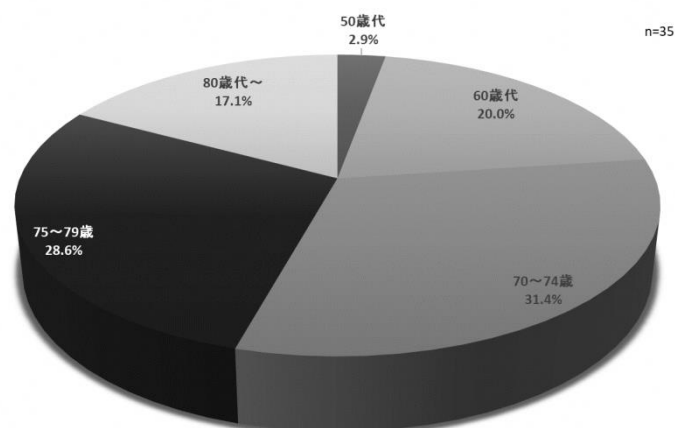
## ① ファーストチェック

チェック 12 項目のうち、「最近、もの忘れが多くなったと感じますか？」に「はい」と回答した者が最も多く、全体の 64.7%（22 名）を占めた。また、「開眼片足立ちのできる時間が 30 秒以上（男性）、23 秒以上（女性）でしたか」に「いいえ」と回答した者が 35.3%（12 名）、「5m の通常歩行は 4 秒未満（男性）、4.2 秒未満（女性）でしたか」に「いいえ」と回答した者が 26.5%（9 名）であった。カテゴリ別の集計でも同様に、認知機能にチェックのついた者が最も多く（64.7%、22 名）、次いで運動機能（55.9%、19 名）であった。セカンドチェックに該当した者の割合は 55.9%（19 名）であった。

## ② セカンドチェック

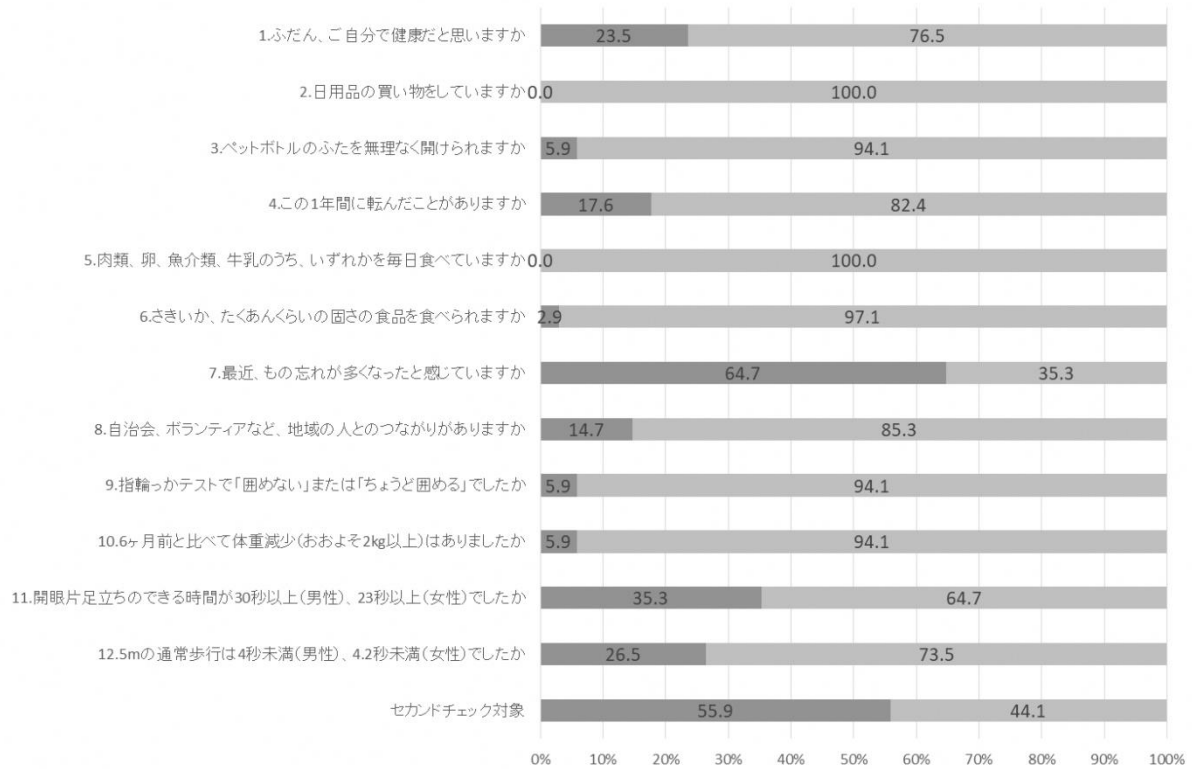
カテゴリ別の集計では、認知機能の低下が最も多く認められ、全体の 45.7%（16 名）を占めた。次いで口腔機能の低下が 25.7%（9 名）であった。

測定参加者の年齢構成

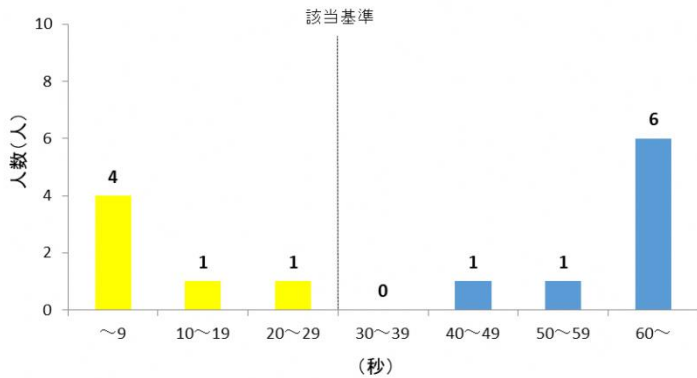


ファーストチェック集計結果

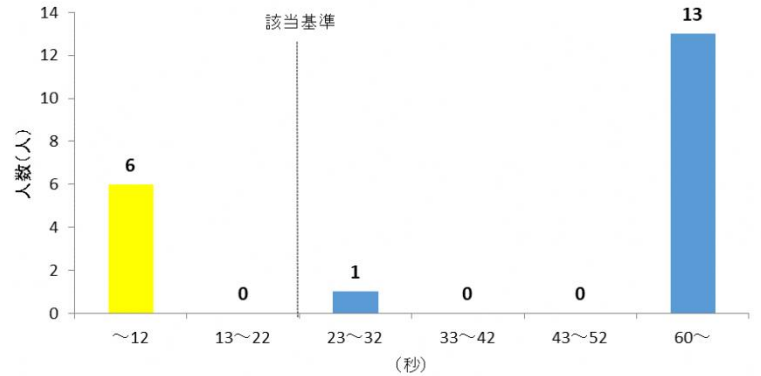
■該当 ■非該当 n=34



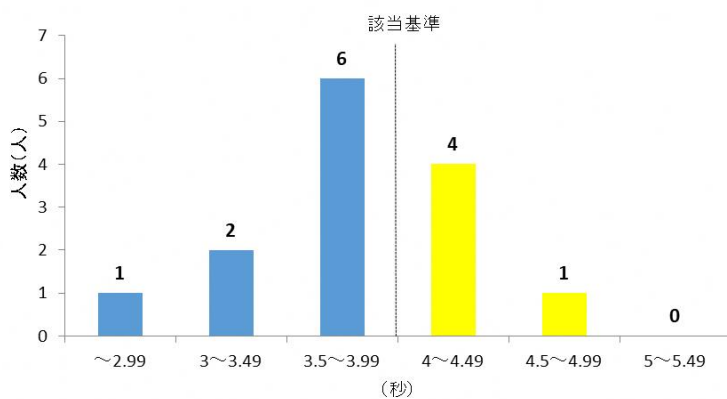
開眼片足立ちテスト(男性)



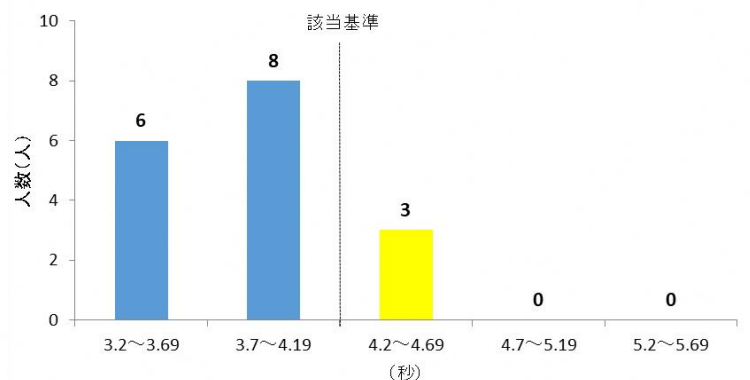
開眼片足立ちテスト(女性)



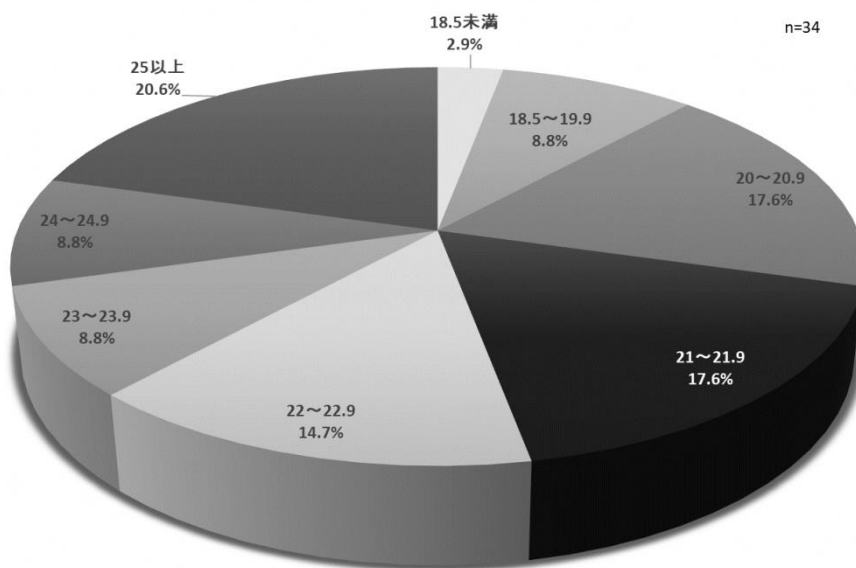
5m通常歩行テスト(男性)



5m通常歩行テスト(女性)

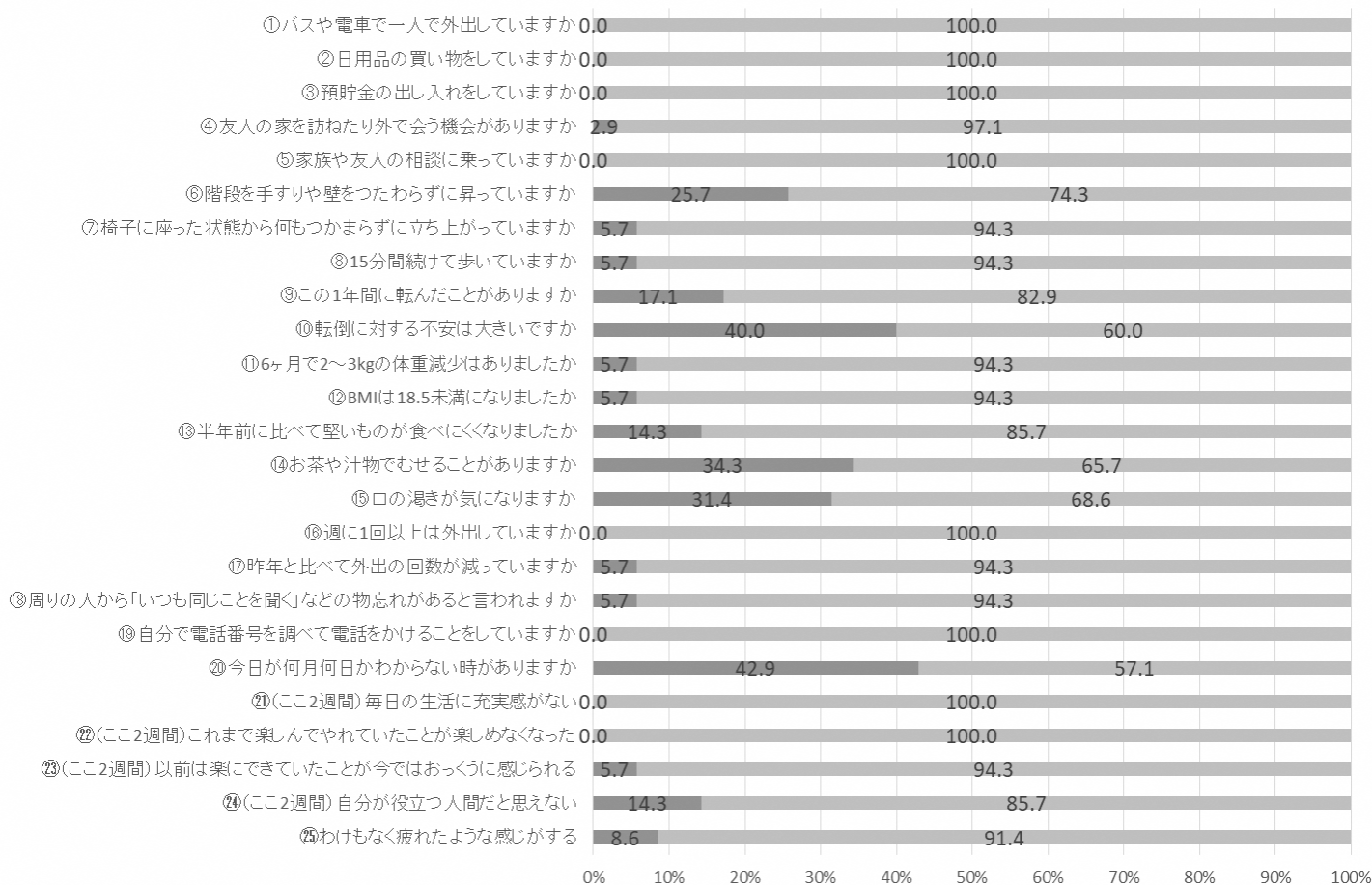


測定参加者のBMI



セカンドチェック集計結果

■該当 ■非該当 n=35



	ファーストチェック						セカンドチェック									
	生活全般	運動機能	栄養状態	口腔機能	認知機能	社会参画	セカンドチェック該当	生活全般	運動機能	栄養状態	口腔機能	閉じこもり	認知機能	心の状態	生活機能低下	複数項目該当
チェックがついた者(名)	8(23.5%)	19(55.9%)	2(5.9%)	1(2.9%)	22(64.7%)	5(14.7%)		1(2.9%)	20(57.1%)	3(8.6%)	18(51.4%)	2(5.7%)	16(45.7%)	7(20.0%)	31(88.6%)	
該当者(名)							19(55.9%)		2(5.7%)	1(2.9%)	9(25.7%)	0(0.0%)	16(45.7%)	0(0.0%)	0(0.0%)	6(17.1%)